

# 日本版包装前面栄養表示の様式（1）

消費者庁食品表示課  
2024（令和6）年8月

# 《中間取りまとめ》我が国におけるFOPNLの検討の方向性

- ✓ 我が国の栄養課題を解決するために重要な栄養成分等として、日本版FOPNLの対象となり得る栄養成分等は、義務表示に位置付けられている熱量、たんぱく質、脂質、炭水化物、ナトリウムとすること。
- ✓ 栄養成分等の量の表示を利活用しやすくするために、対象となる栄養成分の量に加え、栄養素等表示基準値に占める当該量の割合を表示すること。
- ✓ 食品関連事業者の実情を踏まえて自主的な取組を推進するため、任意表示の取組と位置付けた上で、一定のルールが必要であること。

# インタビュー調査の概要について

（「令和5年度 分かりやすい栄養成分表示の取組に関する検討会」資料から抜粋）

# インタビュー調査の方法等

栄養成分表示のより一層の普及啓発や理解につながる取組（FOPNLを含む）について検討するため、次の（１）～（４）のグループ毎に５名程度の調査参加者を集め、フォーカスグループインタビュー調査を実施し、消費者にとって分かりやすい栄養成分表示に向けた課題抽出や改善案を質的帰納的分析を用いて取りまとめた。

- （１）ふだんの食生活において当該表示を参考にしていない者（一般消費者）
- （２）ふだんの食生活において当該表示を参考にしている者（一般消費者）
- （３）管理栄養士又は栄養士
- （４）上級食品表示診断士を持つ食品関連事業者

# 栄養成分表示を参考にしている者（一般消費者）

「あなたは、食品に栄養成分が表示されていることを知っていますか。」の設問に「知っている」と回答した者、かつ、「あなたは、食品の購入時など、ふだんの食生活において「栄養成分の量及び熱量(栄養成分表示)」をどの程度参考にしていますか。」の設問に「いつも参考にしている」又は「ときどき参考にしている」と回答した者を「栄養成分表示を参考にしている者」とした。

## <栄養成分表示を参考にしている者のグループ>

	年齢	性別	子ども	世帯	職種等	生活習慣病
1	20歳代	女性	なし	一人暮らし	学生	なし
2	30歳代	男性	なし	夫婦のみ	会社員（不動産業、物品賃貸業）	なし
3	40歳代	女性	なし	一人暮らし	会社員 （サービス業（他に分類されないもの））	なし
4	50歳代	男性	あり	核家族	会社員（情報通信業）	あり
5	60歳代	女性	なし	一人暮らし	派遣・嘱託・契約社員（金融業、保険業）	あり

# 栄養成分表示を参考にしていない者（一般消費者）

「あなたは、食品に栄養成分が表示されていることを知っていますか。」の設問に「知っている」と回答した者、かつ、「あなたは、食品の購入時など、ふだんの食生活において「栄養成分の量及び熱量(栄養成分表示)」をどの程度参考にしていますか。」の設問に「あまり参考にしていない」又は「全く参考にしていない」と回答した者を「栄養成分表示を参考にしていない者」とした。

## <栄養成分表示を参考にしていない者のグループ>

	年齢	性別	子ども	世帯	職種等	生活習慣病
1	20歳代	女性	なし	一人暮らし	学生	なし
2	30歳代	女性	なし	夫婦のみ	会社員（運輸業、郵便業）	なし
3	40歳代	男性	あり	核家族	会社員（情報通信業）	なし
4	50歳代	女性	なし	一人暮らし	会社員（不動産業、物品賃貸業）	なし
5	60歳代	男性	あり	核家族	自営業・自由業 （不動産業、物品賃貸業）	あり

# 《論点》 栄養成分表示を見ない理由

## < 栄養成分表示を参考にしている者 >

### 今の表示が見づらく読む気が失せる

- ✓ 文字が見づらいのが一番どこに書いてあるか分かりづらい
- ✓ 日本の表示は情報量が多すぎる
- ✓ 途中で改行されたりすると読む気が失せる
- ✓ 1回の日分量で表示されていない

### 手軽に見ることができない

- ✓ 文字が細かすぎて老眼鏡をかけるのが手間
- ✓ 表示を見るため手に取り棚に戻すのが嫌

## < 栄養成分表示を参考にしていない者 >

### ネットだと表示されていない

- ✓ ネットで買うので表示を見る機会がない

### 気にしていない

- ✓ そもそも関心がない
- ✓ そこまで気が回らない
- ✓ 何を買うか決めているので判断材料にならない
- ✓ 病気がないから関心がない
- ✓ 人生長く生きてきたので今更気にしない

### 食べるを優先してあえて見ない

- ✓ 外食では楽しむためにあえて見ない
- ✓ よく分からないので食べたかったら食べる

### その手間が面倒

- ✓ 裏面をひっくり返してまで見ない
- ✓ ひとつずつ見るのは面倒

### 見にくいので見ようという気が起こらない

- ✓ 文字が小さすぎる
- ✓ パッケージの色に対して文字の色が見にくい

### 見ても分からないし役立たない

- ✓ 知識がなく見ても分からない
- ✓ 見ても意味をきちんと理解していない
- ✓ 加工食品から栄養素を摂取する割合が少ないので役立たない

**太字下線**： カテゴリー

✓：コード

# 《論点》 栄養成分表示を活用しない理由

## < 栄養成分表示を参考にしている者 >

### 数値の意味が分からない

- ✓ 表示を見ても自分の栄養素必要量が分かっていない
- ✓ 何グラム増量といってもその基準が分からない

### 負担が多いわりにメリットを感じない

- ✓ 結局面倒に感じる、家の料理に使う物だと意味がない

# 《論点》 栄養成分表示が分かりにくい原因

## < 栄養成分表示を参考にしていない者 >

### 表示が不親切

- ✓ やっぱり文字が小さく文字数が多い
- ✓ 文字の色が見にくい
- ✓ ゴチャゴチャしていてパッと分からない
- ✓ 食べる量で表示されていない

### 栄養素と数値の意味が分からない

- ✓ 栄養の知識がなく何なのかよく分からない
- ✓ 栄養成分の数値だけ出されても多いか少ないか分からない
- ✓ 自分の体の健康と栄養成分の数値が結びつかない

**太字下線**： カテゴリー

✓： コード

# 《論点》 分かりやすい表示にするための改善案

## < 栄養成分表示を参考にしている者 >

### 親切な表示にする

- ✓ 大きく表示
- ✓ 包装の前面に表示
- ✓ 枠を太くして目立たせる
- ✓ 色盲の方でも見やすい文字の色
- ✓ 誤認識しないような強調表示

### 情報量を適切にシンプルにする

- ✓ 情報量を絞る
- ✓ 表示項目数は5個ぐらいでちょうど良い
- ✓ 数値も必要、視覚的にパッと分かりやすく

### 消費者自ら判断できるようにする

- ✓ 1回の目安量あたりでの表示
- ✓ 1日の必要量に対するパーセンテージ表示
- ✓ 数値が高いか低いかの判断表示
- ✓ 一般的な食品の平均値と比べて高いか低いかを表示
- ✓ 食品の種類ごとに評価基準の設定
- ✓ 摂り過ぎを予防する表示
- ✓ 色・高いか低いかの判断・パーセンテージを組み合わせる

### 統一したロゴ/マークにする

- ✓ ロゴを統一
- ✓ トクホみたいなお墨付きマークの付与

## < 栄養成分表示を参考にしていない者 >

### 親切な情報提供

- ✓ 1回に摂取する目安量で表示する
- ✓ 数値が必要な人もいるので、数値を残す
- ✓ 食品の種類によって表示するものを決める

### 包装前面栄養表示で一目で分かりやすい表示

- ✓ 項目を厳選しアイコン化する
- ✓ アイコンは統一する
- ✓ カラフルにしてパッと分かりやすく
- ✓ 1日の必要量に対するパーセンテージを表示する
- ✓ 表示の場所を決める
- ✓ 正面だと購買意欲が湧かないので、サイドに表示する

**太字下線**： カテゴリー

✓：コード

# インタビュー調査の調査協力者

## <管理栄養士のグループ>

	年齢	性別	職種等
1	30歳代	女性	医療業
2	30歳代	女性	保健衛生
3	40歳代	男性	医療業
4	40歳代	女性	持ち帰り・配達飲食サービス業
5	40歳代	女性	地方公務

## <上級食品表示診断士を持つ食品関連事業者のグループ>

	年齢	性別	職種等
1	30歳代	女性	食料品製造業
2	30歳代	男性	食料品製造業
3	40歳代	女性	飲食店等
4	50歳代	男性	食料品製造業
5	50歳代	女性	食料品製造業

# 《論点》 栄養成分表示が分かりにくい原因

## < 管理栄養士 >

### 100gでの表示は誤解を生む

- ✓ 100gの表示なので換算するのが面倒
- ✓ 精神疾患や障害者、認知症の方などは100g表示だと誤解する

### 弁当や惣菜の表示はないか、あっても見にくい

- ✓ 店内加工の食品には表示されていないこともある
- ✓ ラベラーの性能の限界で表示が小さく見えづらい

### 制度が複雑なので分かりやすくすることが困難

- ✓ 栄養強調表示は複雑なので、混乱を招いている
- ✓ 直売所などの小規模事業所には分かりやすさの工夫を求めるのは難しい

## < 食品関連事業者 >

### 表示の見た目の悪さ

- ✓ 文字の太さが細い
- ✓ 表示可能面積に限界があり文字が小さくなる
- ✓ 数字が半角表記で見えにくい
- ✓ 数字の桁数が細かい表示で読みにくい

### 表示方法がよくない

- ✓ 100g表示で不親切感がある
- ✓ 内容量を増減しても100g表示だと手間がかからない
- ✓ 小規模の事業者などは表示作成に不慣れ
- ✓ ポーションサイズを何gにすべきか分からない

### ルールがあいまいでメーカーに解釈が任されている

- ✓ 長期保存や調理による成分変化への対応方法が分からない
- ✓ ルールが見直されていない
- ✓ 成分表（八訂）への対応方法が不明

### 他の表示に比べ目立たない

- ✓ アレルゲン表示や注意喚起などの他の表示を目立たせている
- ✓ 他の表示を優先し、見えづらい所に表示
- ✓ 法定表示と遠い場所に表示
- ✓ 企業オリジナルの表示が多くなり伝わりにくい

### 見えづらいと認識されつつ販売されている

- ✓ ラベラーの性能の限界でシールが長くなる
- ✓ 小売店での陳列方法によっては見えにくくなる

太字下線：カテゴリー

✓：コード

# 《論点》 栄養成分表示を分かりやすくする工夫 (1)

## < 管理栄養士 >

### 表示の見た目の改善

- ✓ 文字は小さいよりは、大きいほうが色々な人にとって良い
- ✓ 栄養成分表示は横書きにして枠で括る
- ✓ 適切な位置で改行する

### 1個当たりと100g表示、それぞれのメリット

- ✓ 1個当たりでの表示にする
- ✓ 100g表示だと商品を比較しやすい

### 必要量に対する割合を示す

- ✓ 1日の必要量に対する割合を示す
- ✓ 1日の必要量に対する割合の表示は、グラフで表示する
- ✓ ターゲットを決め、ターゲットの食事摂取基準に対する割合で表示する
- ✓ 食塩6g/日や野菜350g/日など全世代共通のものは基準量に対する割合で表示する

### 対象となる食品や栄養成分を見直す

- ✓ 食品のジャンルによって表示の細かさや情報量を変える
- ✓ 高血圧や腎臓病など、気をつける人もいるのでカリウムを追加

## < 食品関連事業者 >

### 目立たせる

- ✓ 文字のフォントを変える
- ✓ 栄養成分表示を枠で括る
- ✓ 目立つデザイン
- ✓ 法定表示同士を近づける
- ✓ 企業オリジナルの基準規定外の表示を整理して法定表示に誘導する

### 理解されやすい表示にする

- ✓ 表示値をなるべく整数にする
- ✓ ポーションサイズで表示

### 消費者の意見を反映する

- ✓ ユーザーの意見を聞き、取り入れていく
- ✓ 分かりにくいという理由を考える

### 更に情報提供する

- ✓ WEBで追加情報を提供
- ✓ 飽和脂肪酸などネガティブな情報も開示する

太字下線：カテゴリー

✓：コード

# 《論点》 栄養成分表示を分かりやすくする工夫 (2)

## < 管理栄養士 >

### ラベラーの性能を上げる

- ✓ ラベラーの性能を上げると表示でできることが増える

### 弁当や惣菜にも表示をする

- ✓ 弁当や惣菜など店内加工の食品には必ず栄養成分表示をする

### 包装への表示以外で情報提供する

- ✓ バーコードでスキャンして栄養量が分かるようにする
- ✓ 二次元バーコードで情報を提供
- ✓ 栄養成分表示の表記方法を統一するのは難しいのでPOPで情報提供する

### 適切な利用につなげる取組をする

- ✓ 栄養素必要量を計算できるアプリを開発する
- ✓ 専門家への相談につなげる一文を表示する

# 《論点》 包装前面栄養表示の表示方法

## < 管理栄養士 >

### 包装前面に分かりやすく表示する

- ✓ 意識していない人も見るようなパッと見て分かりやすい表示
- ✓ 前面で完結した表示

### 書き方を統一する

- ✓ 統一された書き方にする
- ✓ 色で表示すると捉え方が人によって違うので統一したマークにする

### 食塩に特化する

- ✓ 食塩は国全体で取り組む課題なので食塩に特化する

### 給食でも表示する

- ✓ 食堂の給食メニューにも付け、普及・啓発につなげる

## < 食品関連事業者 >

### 基準を決め、スコアリング型かお墨付きマーク型

- ✓ 食品のジャンルでスコアリングする
- ✓ お墨付きマーク型にする

### 包装前面栄養表示の位置付け

- ✓ 義務表示は難しい

### 表示する項目数

- ✓ 栄養成分表示 5 項目以外も含めたスコアリング
- ✓ 実行可能性も含めむしろ 5 項目で十分
- ✓ 日本の栄養政策と一致させ減塩に特化

# 日本版包装前面栄養表示の様式案の 要件（案）等について

# 日本版包装前面栄養表示の様式案の要件（案）

- ① 様式案は、枠囲みなどパッケージ上の他の表示と区別するための工夫がなされていることとしてはどうか。
- ② 様式案は、白黒など単色（モノトーンは可）でデザインされていることとしてはどうか。
- ③ 様式案には、必ずエネルギー、たんぱく質、脂質、炭水化物、食塩相当量の文字を含め、かつ含有量を表示するスペースが確保されていることとしてはどうか。
- ④ 様式案には、栄養素等表示基準値に占める割合を表示するスペースが確保されていることとしてはどうか。

# 栄養成分等の量の表示を利活用しやすくすること

厚生労働省が策定している日本人の食事摂取基準の18歳以上の成人の推奨量等の性・年齢別の値を人口に基づき加重平均した値である栄養素等表示基準値を活用するなど、消費者自身が目安となる量を意識できるような取組は、栄養成分表示の分かりにくさを改善する一助となる可能性がある。したがって、**日本版FOPNLの様式については、対象となる栄養成分等の量に加え、栄養素等表示基準値に占める当該量の割合を表示することが**適当である。

(「我が国における包装前面栄養表示の検討の方向性」から抜粋)

- ✓ 食品表示基準別表第10に規定する栄養素等表示基準値を活用して、消費者が目安量となる量を意識できるような取組とするが、消費者が一目で見て、確認する情報量を少なくする観点から**日本版包装前面栄養表示の様式案には、栄養素等表示基準値等の文言までは含めない**としてはどうか。

# 消費者が利活用しやすい食品単位で表示すること

一部の食品において、栄養成分表示の食品単位が100g当たりの食品単位であるが内容量の単位が個数であるなどの不一致により、消費者自身が当該食品から摂取できる栄養成分等の量の概算が困難なものがあり、消費者が栄養成分表示を利活用できない場合もあると考えられる。そのため、日本版FOPNLにおいても、消費者が使いやすい食品単位を設定することも求められる。したがって、**日本版FOPNLにおいては、食品単位を当該食品の1食分であることを原則とし、当該1食分の量を合わせて表示すること**が適当である。ただし、消費者毎に1食分の量が異なるような食品が、1食分の量を規定した場合、消費者にとって適切な情報提供とはならない可能性があることにも留意する必要がある。

（「我が国における包装前面栄養表示の検討の方向性」から抜粋）

- ✓ 日本版FOPNLにおいては、食品単位を当該食品の1食分であることを原則とし、当該1食分の量を合わせて表示する取組とするが、**日本版包装前面栄養表示の様式案に、食品単位の表示を含めない**としてはどうか。
- ✓ しかしながら、**消費者が当該1食分の量を確認するために、食品単位の表示は、日本版包装前面栄養表示の様式案の同一面の近接した場所に表示すること**としてはどうか。